

令和3年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国学力・学習状況調査で中学校第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択することができている。
- 意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書くことができている。
- 事前に確かめておきたいことについて、相手に失礼のないように書くことに課題がある。

【数学】

- 数量や図形などについての知識・理解の定着と深まりが見られる。
- ヒストグラム、相対度数などのデータの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができている。
- 数学的な技能（数式の加法と減法の計算、一元一次方程式の作成など）に課題が見られる。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますかという項目に対して肯定的である。
- 人の役に立つ人間になりたいという項目に対して肯定的である。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているという項目に対して課題が見られる。
- 平日や学校が休みの日における勉強時間が全くないと答えた生徒の割合が、全国や福岡県の値と比較して高い

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・全国学力・学習状況調査分析問題及び県学力調査問題を参考とした定期考査問題の作成
- ・全校での授業改善の推進（学習活動に着目した、学年による授業参観及び指導方法の共有）
- ・学習指導要領の領域等を視点とした結果の分析による、国語科における年間指導計画の見直し

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学習指導要領の領域等を視点とした、結果の分析及び年間指導計画の見直しの推進
- ・国語科：本時授業のまとめを、学びの効果や学ぶことで生まれた疑問という視点で書く。
- ・数学科：作成した定期考査問題を単元の始まる前に担当教師が共有し、授業計画を逆向き設計で計画、実施する。

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・自己肯定感の高まりを目指す校内主題研究を推進しており、目標や課題を生徒が主体的に設定する単元構成を授業改善の視点としている。

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・毎日朝食を食べる生徒を増やすための食育の推進
- ・数学科における数学的な技能の向上や英語科における単語の獲得を目的とした家庭学習を推進させるための課題の作成